

# 夢 塾 だ よ り

## ～ 「グランメゾン東京」と「山川穂高」 ～

(第28号) 令和元年11月26日



テレビドラマは滅多に見ない私ですが、日曜日の午後9時に欠かさず見る番組があります。

挫折したカリスマシェフを木村拓哉さんが演じるドラマです。視聴率も好評のようです。かつてフランスのパリで、グルメガイド紙の『ミシュラン』で三つ星を獲得した一流レストラン「ランブロワジー」で修業を積んでいた日本人シェフの『尾花夏樹』。同じ店で働く京野陸太郎と独立してパリに自分のレストラン

「エスコフィユ」をオープンし、ミシュランから二つ星を獲得するも、2015年に開かれた日仏首脳会談の昼食会で出した料理に「ナッツ」が混入し、仏首脳が

アレルギーを起こす。追及する仏官僚を殴る暴力事件を起こし逮捕され全てを失う。その3年後、東京でフレンチの三つ星レストランを目指し、再び立ち上がる物語が『グランメゾン東京』です。

ストーリーの展開や鈴木京香さん沢村一樹さんなどキャストもいいのですが、「尾花夏樹」の迫真せまる演技の中での何気ない言葉に思わず『うわっ』となります。

「自分を信じられないシェフに三つ星なんか絶対にとれない」・・・

「三つ星狙うなら自分で本物を生み出すしかないんだよ」等々。

これからの展開が楽しみです。魅せるドラマには魅せられる言葉が潜んでいるんです。

今朝の新聞には西武（中部商業高校出身）の山川穂高一塁手が二年連続でベストナインに選出されたと載っています。143全試合に出場し43本塁打（2年連続ホームラン王）にも輝きました。来季からは背番号も「33」から『3』になります。「背番号『3』は特別な数字なので、山川の数字と言ってもらえるようになりたい」と名実ともに球団の顔となるでしょう。



県出身の若者が各方面で一流の活躍をしていることが、沖縄の青少年に限りの無い、たくさんの『夢』を与えています。「首里城」再建にも県民はもとより各方面から支援の輪が広がって、ほんとうにスゴイことです。すべての県民の心の中にある「チムグクル」沖縄から発信されています。